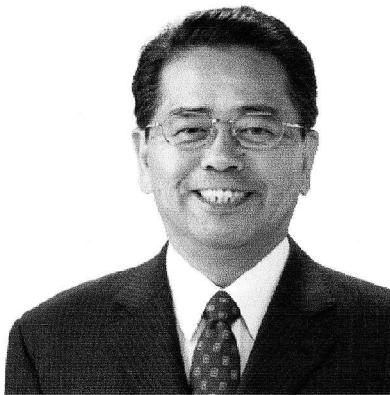


ささぐり純夫通信

Vol 27 2013/1/7 発行
糸島市前原中央1-5-28-905
☎322-9150 篠栗純夫

12月一般質問質議より（要旨）



篠栗純夫(ささぐり すみお)
平成14年より前原市議会議員として活動。平成22年1月「糸島市」誕生、2月に糸島市議会議員当選。
■建設産業常任委員会委員
■糸島市監査委員(議会選出)

適材適所から適所適材の人事配置を！ 民間との人事交流で自治体間競争に勝ち抜く糸島市を！

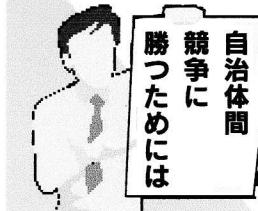
ささぐりからの質問

「適所に適材」は仕事基準と言います。ビジョンからシッカリとした目標を定め、その戦略を決めて、一つ一つ実行して行くと、その成果の積み重ねで世の中が良くなります。従来の適材適所は、「人」基準で、どうしても曖昧になります。すでに糸島市から福岡県や九州大学などに、人材を派遣され、今年度から、JA糸島等からの人材の受け入れをされているようですが、私は、これを一步前に進めて「民間企業との人事交流で自治体間競争に勝ち抜く糸島市を目指さないか。」と提案します。



市長答弁

本市においても、まず「組織と役割」の決定、次に事務・事業に必要な職員数の確定を行い、適材の配置や重点施策に連動した人事管理を実践しております。また、「民間企業との人事交流」については、民間企業の経営感覚を身につけた人材を育成するための有効な方法と認識しており、今後さらに拡大していきたいと考えております。



身近で便利な市役所に！

ささぐりからの質問

「毎月最低でも、一日は休日開所して欲しい」との声に対し、どう向き合うか。

部長答弁

勤務形態や生活様式の多様化により、平日に来庁できない方に対する利便性の向上や窓口サービス充実の観点から、定期的な休日開庁や平日の開庁時間延長につきまして、現在、支所廃止後の窓口体制総合窓口化と併せ、ワンストップサービス検討庁内ワーキング会議におきまして、関係課協議を進めている最中であります。平成25年度中には、その結論を得たいということで検討をしております。



コンビニでの各種証明書発行の検討を！

ささぐりからの質問

コンビニでの証明書発行は時代の要請と判断する。検討を急ぐべきではないか。全国では、コンビニでの証明書発行をしている自治体があります。現在、コンビニでの証明書発行の検討状況をお聞きします。

部長答弁

諸証明のコンビニ交付につきましては、「行財政健全化計画」に計上し、調査・検討を進めています。本市といたしましては、その他のコンビニの参入動向、現在行っている電算システム更新の内容、これにつきましては議員が言われましたクラウド化のこと、コンビニ交付対応も含めたものでございます。それから国において検討が進められているマイナンバー制度の状況を見極めながら、引き続き調査・検討を進めていきたいと考えております。

特定健診受診率を高率で維持するさらなる施策を！

糸島市特定健診受診率の積極的取組を！

ささぐりからの質問

平成24年度の目標に対する現状と、達成に向けた取り組みについて伺う。

部長答弁

国保の特定健診の対象者約19,000人に対し、11月末で受診者は約5,300人で、受診率は約28%となっています。昨年の受診率23.5%は現時点で、既に上回っております。しかし、今年度の受診率の目標42%には達していない状況です。今年度は、受診率の向上を最大目標に、特定健診の自己負担金を無料化し、総合健診の回数も前年度より9回増加し、また、医師会の協力の下に、医療機関での特定健診にも積極的に取り組んでおります。また、今年度の取り組みとして、

- 伊都菜彩での早朝健診、●漁協での集団検診 ●農協のがん検診との合同健診、
●シルバー人材センターでの集団検診など、様々な取り組みを行っております。

ささぐりからの質問

「特定健診受診」が納税意識と同様に市民の方に定着するための、恒久的な対策、仕掛けづくりが必要と考えるが見解を伺う。

部長答弁

また、各自の健康に関心を深めていただいた次は、地域の特徴に合わせた健康づくりを行っていく必要があります。市内一律ではなく、地域で違いがあり、特色ある健康づくりを、市民の共助の下、取り組みを進めて頂く、そのような仕掛けも必要だと考えております。（行政区での特定健診、相談）

- 糸島市は、国の基準に基づいた検査に加え、心臓病、脳卒中など寝たきりや重症化予防のため、心電図の検査を加えています。その結果、今年もすでに19名の方が、すぐに治療開始し、重大事にならずに済みました。

生活習慣病の中でも重症化すると怖い糖尿病に関しては、今年度の健診で18人がすぐに人工透析になってしまふのではないかと心配する値の方を発見しました。

数値的には医療費が高額にならなくて済んだという評価も出来ますが、何よりも尊い命を救うことが出来たことに、特定健診の受診が役立つことを実感しています。特定健診の必要性を訴える際に、このような事例も広報などで紹介しながら、健診受診を身近なものにしていきたいと思います。

- 「健康寿命」を延ばすことが、自分の健康だけでなく、家族、社会に及ぼす影響、今後の保健財政を安定的に運営するために絶対的に必要な事項であることを強く、訴えていきたいと考えています。
- 11月に実施した特定健診の対象者調査からも、すでに医療機関にかかっている人は多く、中高年齢層では、高血圧や糖尿病など生活習慣病を発症して、既に治療を開始している人もいます。来年度からは、こうした年齢層に対して生活習慣病によって、心臓病や脳梗塞など寝たきりになったり、命に関わる病気であり、重症化予防を重点的に健診の推進を図ることとしています。
- 若い世代は、健康に関心も薄く、中高年になってから生活習慣病予防を行っても遅いことから、乳幼児健診時に母親の健康管理も一緒に行うなど、早い段階から健康に対し関心を持つてもらうような取り組みを行っていきます。



市庁舎新館の全照明のLED化が実現！

昨年に比べ、電気料金の半減が期待。
JR駅自由通路は交換済み。今後も公民館等も交換予定

市庁舎新館の全照明をLED化する取り組みについて、市議会公明党の猪俣純夫議員が2011年6月議会をはじめ、早期実施を再三にわたって要望していました。各照明のLED化については、市議会公明党の猪俣純夫議員が2011年6月議会をはじめ、早期実施を再三にわたって要望していました。



市庁舎新館の全照明をLED化する取り組みについて、市議会公明党の猪俣純夫議員が2011年6月議会をはじめ、早期実施を再三にわたって要望していました。各照明のLED化については、市議会公明党の猪俣純夫議員が2011年6月議会をはじめ、早期実施を再三にわたって要望していました。

交換された電球は合計512個で、市管財契約課の担当者は一部屋が明るくなり、電気料金も昨年と比べ、半分に抑えられる」と経費削減に期待を寄せていました。今後、同市内のJR駅舎や公民館などに取り換えた写真。

「弁当の日」全校で実施が決定！ 「弁当の日」糸島市小中学校の全校で実施

ささぐりからの質問

糸島市は全ての小中学校で完全給食が行われており、児童、生徒はもとより保護者からも大変喜ばれています。生活スタイルも多化しており、保護者にとってこれほど有難いことはないと聞き及んでおります。しかし、一市二町合併前から、二丈町は「お弁当の日」を設定され合併後も続いている。旧二丈町の教育委員会の提案であったとお聞きしています。非常に素晴らしい取り組みだと思います。

「お弁当の日」を設定することにより、給食の有難さを再認識したとのご意見をお聞きしました。

高学年になると親子で弁当を作るというお話もお聞きしました。

保護者の皆様にご負担を掛けますが、得ることが多くあるのではないで

しょうか。また「お弁当の日」を設定することにより、どのような効果が見込まれるか。



部長答弁

期待される効果については、平成24年3月に実施したアンケート結果によりますと、「弁当の日」を実施している市内の小・中学校からは、『食への関心が高まった』『感謝の気持ちをもつようになった』『家庭でのコミュニケーションが増えた』等の効果が上がっているとの回答が多いという結果ございました。

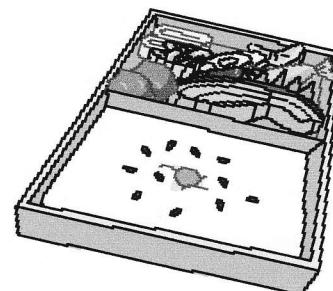
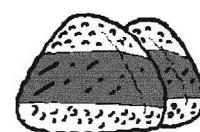
ささぐりからの質問

「お弁当の日」を糸島市全小中学校に展開しないか

部長答弁

「弁当の日」の取り組みにつきましては、その目的や期待する効果など、教育的に意義あるものとして認識しております。

弁当日の取り組みは、平成17年度に可也小学校で始まり、旧二丈町におきましては、平成19年度より「弁当の日」の実施、旧前原市においても平成20年度から推進をしております。そこで、**来年度からですが、実施が難しい学校においては、まず、遠足の日等を「弁当の日」と設定し、親と子、または子どもだけで弁当を作る取り組みを行うことで、市内全校で「弁当の日」を実施するようにしていきたい**と考えます。



全小・中学校に ミストシャワー設置へ

児童・生徒の熱中症対策の効果が期待され、一部の学校を除いて、全小・中学校に設置が完了！



現場第一主義 現地報告



新春街頭演説（要旨）

「皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年12月の衆議院総選挙におきましては、寒風吹きすさぶ中、公明党に対して真心のご支援を賜り、心より、感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

景気が後退局面にある中、景気対策は国民生活にとってまさに喫緊の課題です。

まずは、この度の連立政権合意の中に明記した通り、本格的な補正予算を来年度予算と連動して編成し、切れ目のない景気・経済対策に万全を期してまいります。

特に景気の影響を受けやすい地域経済や中小企業に行き届く施策を実行してまいります。

社会保障と税の一体改革については、社会保障に対する国民の将来不安を解消し、制度の持続可能性の強化をさらに進めてまいります。公明党がこれまでに訴えてきたように、まずは、景気対策をしっかりと行う事が重要です。その上で、消費税の引き上げについては、8%への引き上げ段階からの軽減税率の導入を図る等、低所得者対策を確実に実施してまいります。

公明党には①日本再建を担う責任感と実行力 ②現場のニーズをつかんで立案した具体的な政策 ③地域に深く根差した地方議員と国会議員のネットワークの力があります。国民の皆様の信頼にお応えできるよう、約3,000人の公明党議員が一丸となって、政策実現に全力で働いてまいります。そして、わが国の未来を開く「日本再建」を確実に進めてまいる決意です。本年も公明党へ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。」

放置アスベストを撤去、焼却

地域住民の皆さんのお困りを解消を！



アスベスト混入したゴミを撤去

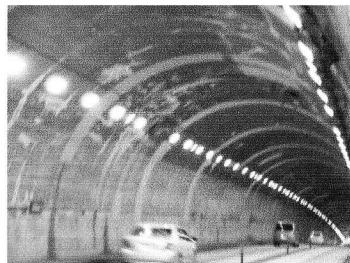
去る10月20日（土）午後2時55分、糸島市二丈大入で田んぼの火災から、そこに仮置きしてあった業務用大型冷蔵庫に火が移り119番通報がなされた。所有者も立ち会われ消火作業がなされ、鎮火後、消防本部からアスベストを含むごみが飛散しないよう指導をされていた。その後、二丈大入地域の方から「飛散防止のブルーシートが敷いてあるが、強風でアスベストが飛散するのではないか。焼けただれた残骸が残っており、美観を損なっている」との連絡をお受けした。

連絡を受けた翌日の12月2日（日）現地を訪れ、詳細に現場を確認しました。ご指摘の通りであり、12月4日（火）に糸島市生活環境課に現状を報告し、早急にアスベスト撤去を最優先で所有者に行政指導していただきたいと申し入れ、

12月12日（水）所有者立ち合いのもと大型冷蔵庫本体を除く残骸と消火作業で、アスベストが田んぼに入り込んだであろうと思われる箇所すべてを、土嚢に詰め込み、糸島市クリーンセンターで焼却処分されました。

二丈浜玉道路大入トンネルの照度アップが実現

二度と同じ事故をお起こさない！・防災・減災対策のために！



照度が改善された大入トンネル

糸島市議会議員となって、二丈にお住いの方から最初に相談されたのが、「大入トンネルが暗くて危険です。私たちは、二丈町であった平成8年3月29日、トンネル内事故で亡くなられた方のことは、決して忘れてはいません。笹栗さん、事故を防ぐには、トンネル内を明るくすることが一番と考えます。」と相談を受けました。平成22年から毎年、所管課に申し入れをしてきた結果、先日、管理元である福岡県道路公社が、その要望を受け入れていただき、トンネル内が非常に明るくなりました。平成25年度から国道202号二丈浜玉道路が無料化となります。交通量が激増すると思われますが、ドライバーの皆様の更なる安全運転が望まれます。